

# 漢詩の世界



## 春暁 孟浩然

春眠暁を覚えず  
 处处啼鳥を聞く  
 夜来風雨の声  
 花落つること知りぬ多少ぞ

春 眠 不 覚 暁  
 处 处 啼 鳥 鳴  
 夜 来 風 雨 声  
 花 落 知 多 少

●漢詩の表現やリズムを捉え、読み味わう。  
 ●漢詩に描かれた情景を捉え、古人の心情を想像する。

- 1 「春暁」春の夜明け方。
- 2 「处处」あちこちら。
- 3 「啼鳥」さえずる鳥の声。
- 4 「夜来」昨夜以来。
- 5 「花落つること知りぬ多少ぞ」さそ花がたくさん散ったことだろう。

◆孟浩然 [689-740] 中国の唐時代の詩人。清新な作風で自然を詠んだ歌が多い。四十歳で郷里から唐の都長安に上り、李白・王維らと親交を結んだ。  
 〈詩の原文は『漢詩選7 唐詩選下』による。〉

## 黄鶴楼にて孟浩然的の広陵に之くを送る 李白

故人西のかた黄鶴楼を辞し  
 烟花三月揚州に下る  
 孤帆の遠影碧空に尽き  
 唯だ見る長江の天際に流るるを

故 人 西 辞 黄 鶴 楼  
 烟 花 三 月 下 揚 州  
 孤 帆 遠 影 碧 空 尽  
 唯 見 長 江 天 際 流

- 1 「黄鶴楼」現在の中国武漢市の南西、長江に面して建てた高樓。仙人が、絵にかいた黄色い鶴に乗って飛んできてしまったという伝説がある。
- 2 「故人」ここでは旧友のこと。孟浩然を指す。
- 3 「烟花」花に立ちこめる霞のこと。
- 4 「碧空」青い空。
- 5 「天際」天の果て。空のはるかかなた。



◆李白 [701-762] 中国の唐時代の詩人。自由奔放な詩風で知られ、杜甫とともに「大詩人」とされる。また、その作風から「詩仙」とも称された。  
 〈詩の原文は『新書漢文大系6 唐詩選』による。〉